

令和4年3月17日公表

## 令和3年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 農福連携の取組に関する意識・意向調査結果

本調査は、農業者4,000人及び1,741市区町村を対象として、令和3年11月中旬から12月上旬にかけて、農福連携の取組に関する意識・意向について調査を実施し、農業者2,652人及び1,272市区町村から回答を得た結果である。

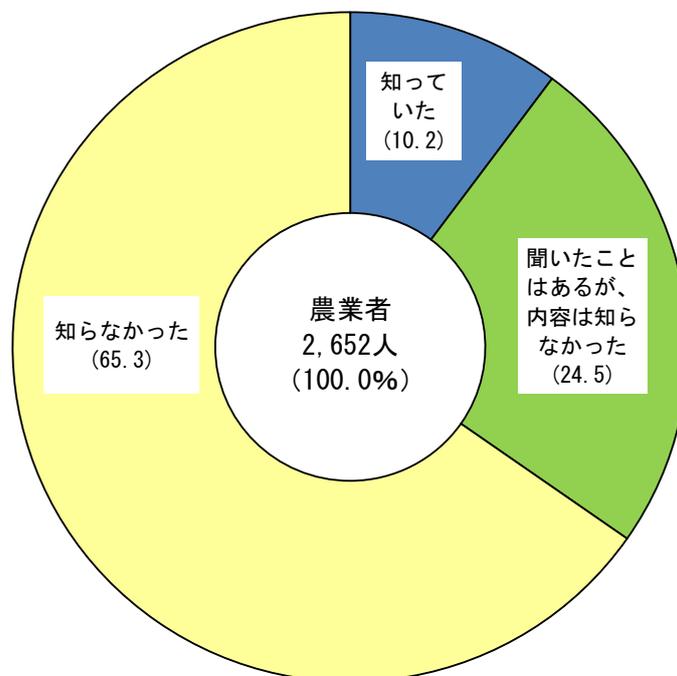
### 【調査結果】

#### 1 農業者

##### (1) 農福連携を知っているか

農福連携を知っているかについては、「知っていた」と回答した割合が10.2%、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が24.5%、「知らなかった」が65.3%であった。(詳細は、統計表13ページ参照)

図1 農福連携を知っているか



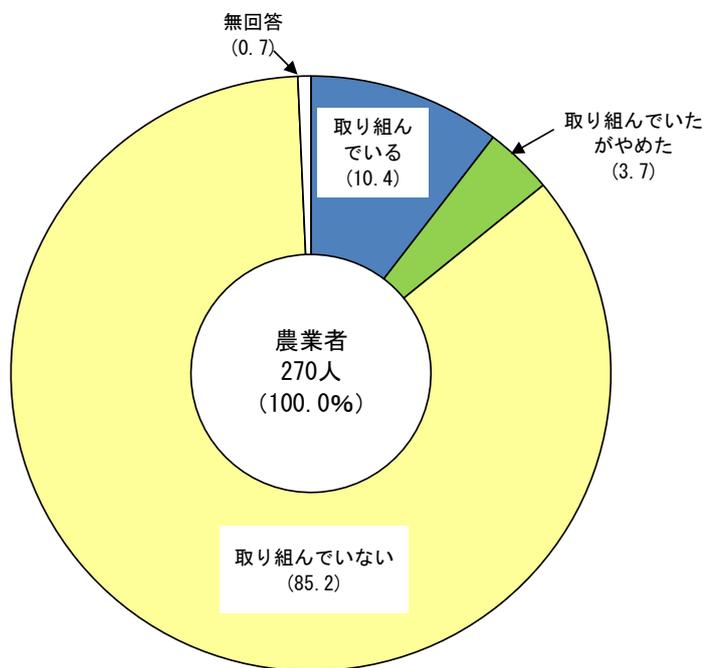
注：割合については、表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が100.0%とならない場合がある（以下同じ。）。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 <https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

(2) 農福連携に取り組んでいるか

農福連携を知っていた農業者において、農福連携に取り組んでいるかについては、「取り組んでいる」と回答した割合が10.4%、「取り組んでいたがやめた」が3.7%、「取り組んでいない」が85.2%であった。（詳細は、統計表13ページ参照）

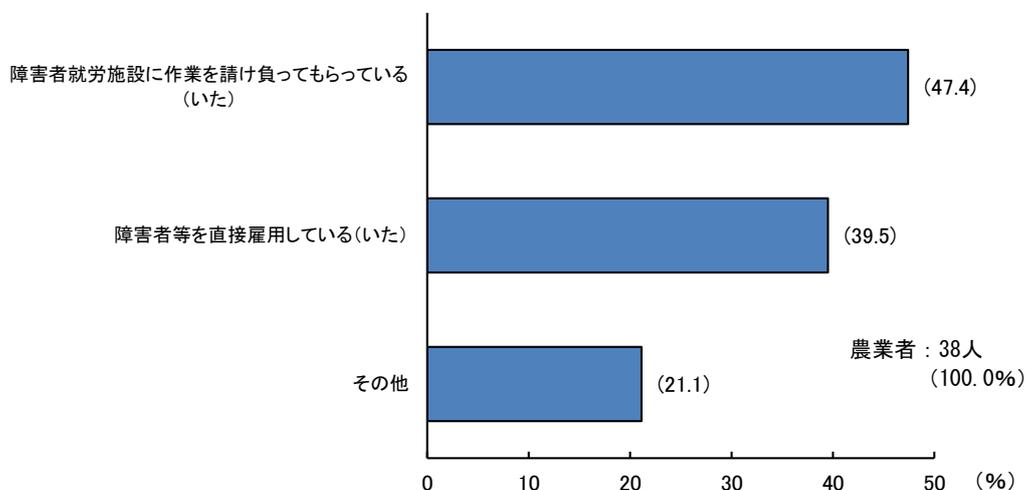
図2 農福連携に取り組んでいるか



(3) 農福連携における雇用形態

農福連携に取り組んでいる又は取り組んでいたがやめた農業者において、農福連携における雇用形態については、「障害者就労施設に作業を請け負ってもらっている(いた)」と回答した割合が47.4%、「障害者等を直接雇用している(いた)」(39.5%)であった。（詳細は、統計表14ページ参照）

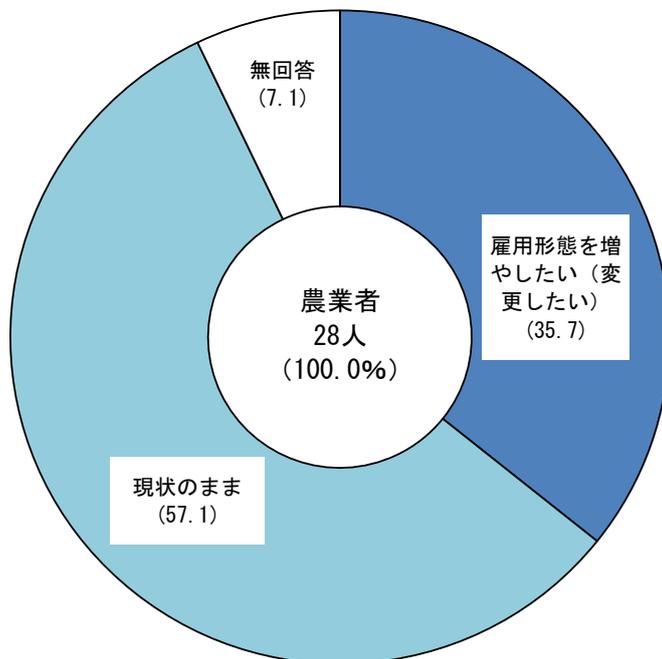
図3 農福連携における雇用形態（複数回答）



#### (4) 今後の雇用形態

農福連携に取り組んでいる農業者において、今後の雇用形態については、「雇用形態を増やしたい（変更したい）」と回答した割合が 35.7%、「現状のまま」が 57.1%であった。（詳細は、統計表 14 ページ参照）

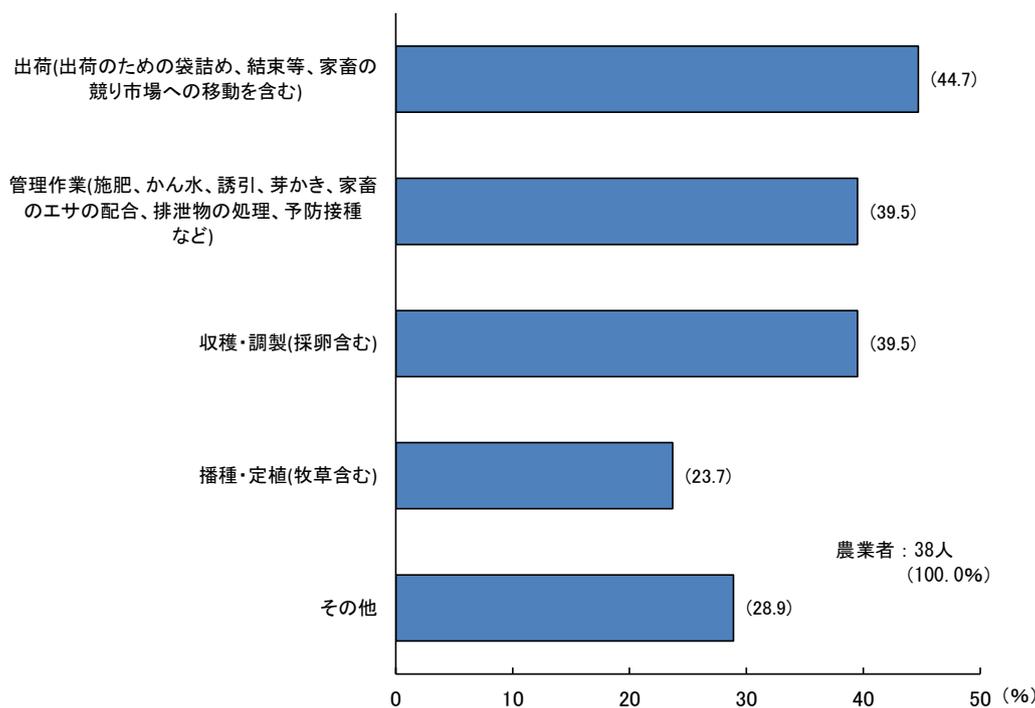
図 4 今後の雇用形態



#### (5) 障害者等が担う作業

農福連携に取り組んでいる又は取り組んでいたがやめた農業者において、障害者等が担う作業については、「出荷(出荷のための袋詰め、結束等、家畜の競り市場への移動を含む)」と回答した割合が 44.7%、「管理作業(施肥、かん水、誘引、芽かき、家畜のエサの配合、排泄物の処理、予防接種など)」及び「収穫・調製(採卵含む)」がそれぞれ 39.5%であった。（詳細は、統計表 15 ページ参照）

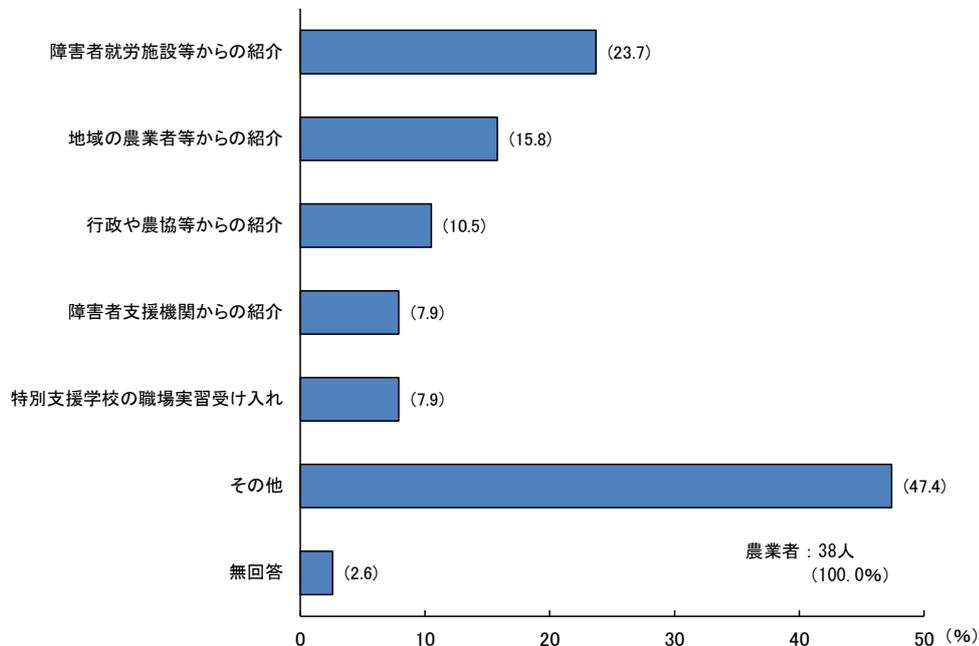
図 5 障害者等が担う作業（複数回答）



### (6) 農福連携に取り組んだきっかけ

農福連携に取り組んでいる又は取り組んでいたがやめた農業者において、農福連携に取り組んだきっかけについては、「障害者就労施設等からの紹介」と回答した割合が23.7%、「地域の農業者等からの紹介」(15.8%)、「行政や農協等からの紹介」(10.5%)であった。(詳細は、統計表16ページ参照)

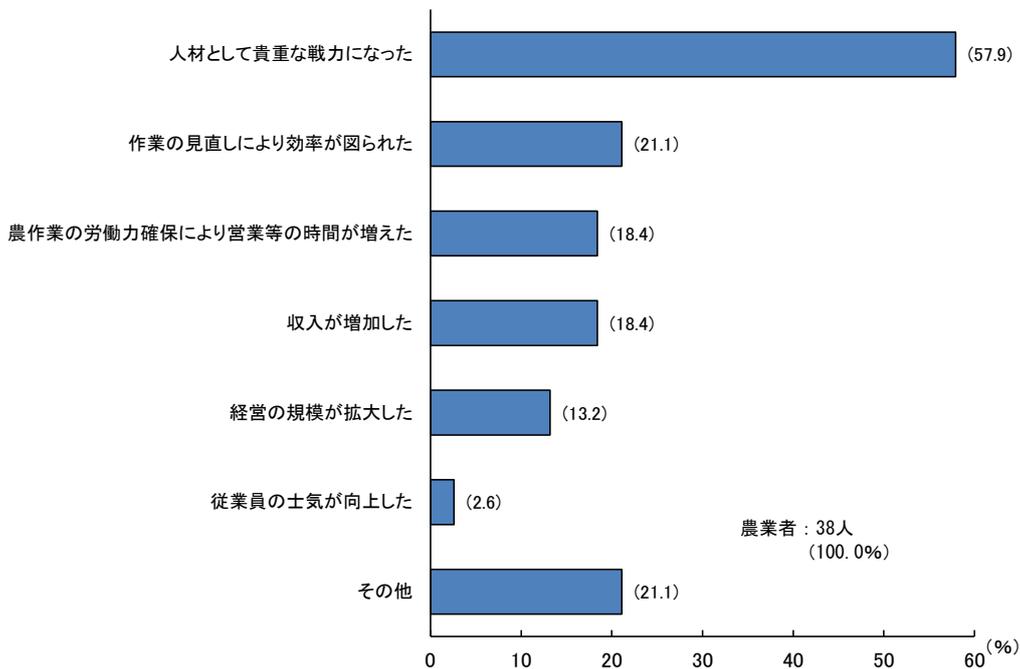
図6 農福連携に取り組んだきっかけ(複数回答)



### (7) 農福連携に取り組むことによる効果

農福連携に取り組んでいる又は取り組んでいたがやめた農業者において、農福連携に取り組むことによる効果については、「人材として貴重な戦力になった」と回答した割合が57.9%、「作業の見直しにより効率が図られた」(21.1%)、「農作業の労働力確保により営業等の時間が増えた」及び「収入が増加した」がそれぞれ18.4%であった。(詳細は、統計表17ページ参照)

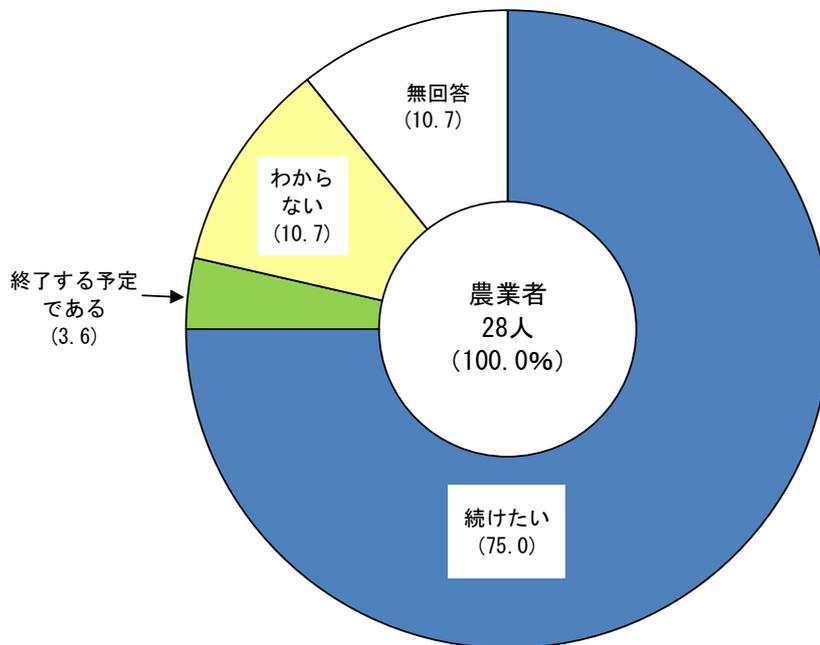
図7 農福連携に取り組むことによる効果(複数回答)



(8) 農福連携の継続の意向

農福連携に取り組んでいる農業者において、農福連携の継続の意向については、「続けたい」と回答した割合が75.0%、「終了する予定である」が3.6%、「わからない」が10.7%であった。（詳細は、統計表20ページ参照）

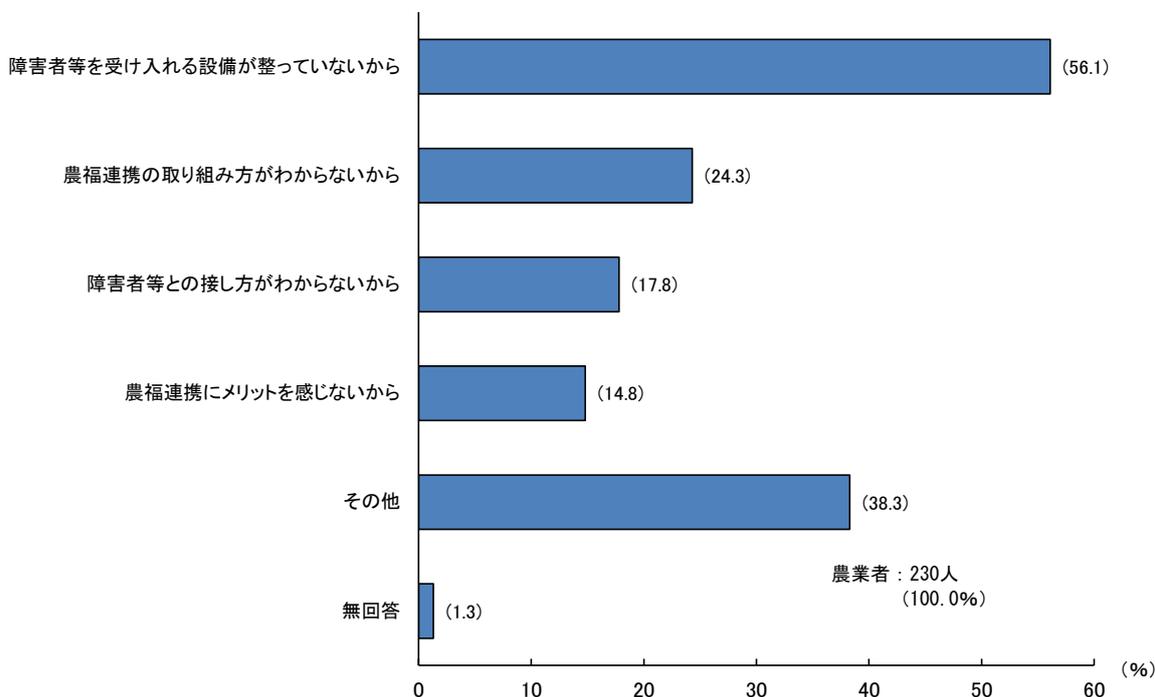
図8 農福連携の継続の意向



(9) 農福連携に取り組んでいない理由

農福連携に取り組んでいない農業者において、農福連携に取り組んでいない理由については、「障害者等を受け入れる設備が整っていないから」と回答した割合が56.1%、「農福連携の取り組み方がわからないから」(24.3%)、「障害者等との接し方がわからないから」(17.8%)であった。（詳細は、統計表23ページ参照）

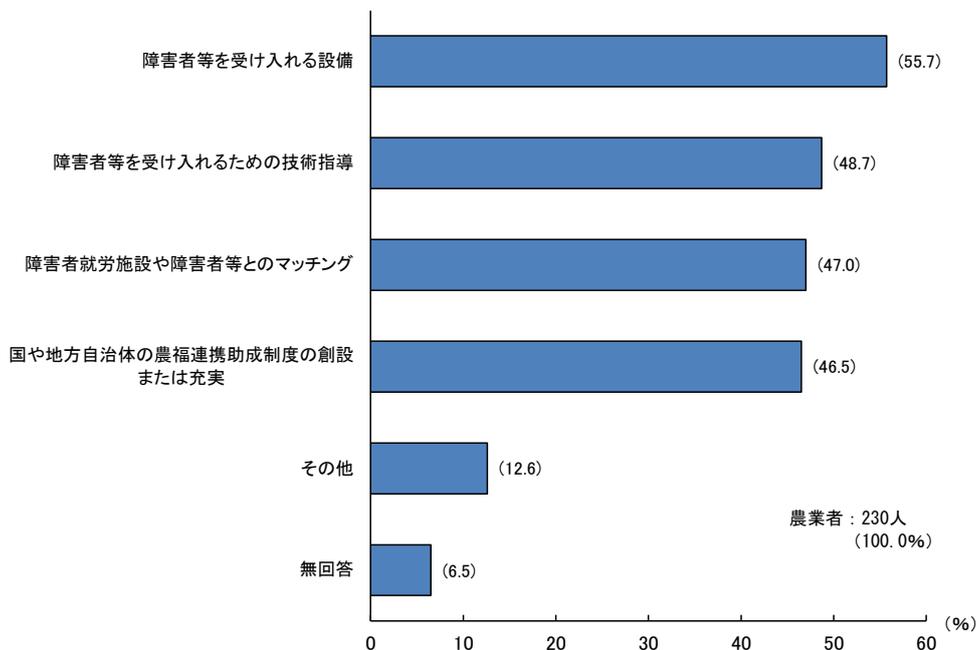
図9 農福連携に取り組んでいない理由（複数回答）



(10) 農福連携に取り組む場合に必要なこと

農福連携に取り組んでいない農業者において、農福連携に取り組む場合に必要なことについては、「障害者等を受け入れる設備」と回答した割合が55.7%と最も高く、次いで「障害者等を受け入れるための技術指導」(48.7%)、「障害者就労施設や障害者等とのマッチング」(47.0%)の順であった。(詳細は、統計表23ページ参照)

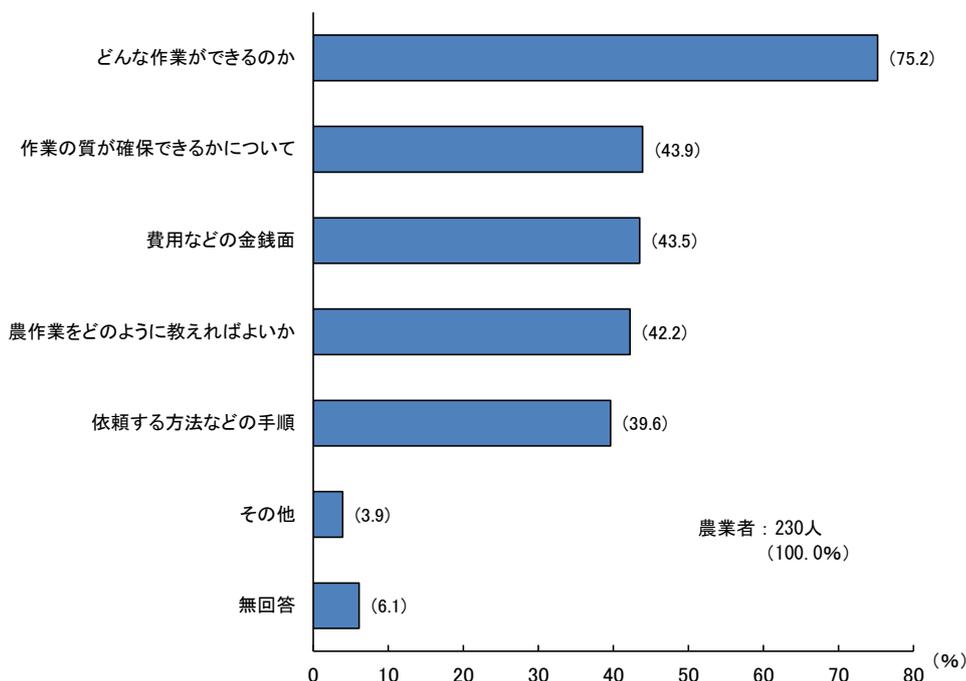
図10 農福連携に取り組む場合に必要なこと(複数回答)



(11) 障害者等に農作業を依頼する場合に分かると良いこと

農福連携に取り組んでいない農業者において、障害者等に農作業を依頼する場合に分かると良いことについては、「どんな作業ができるのか」と回答した割合が75.2%と最も高く、次いで「作業の質が確保できるかについて」(43.9%)、「費用などの金銭面」(43.5%)の順であった。(詳細は、統計表24ページ参照)

図11 障害者等に農作業を依頼する場合に分かると良いこと(複数回答)



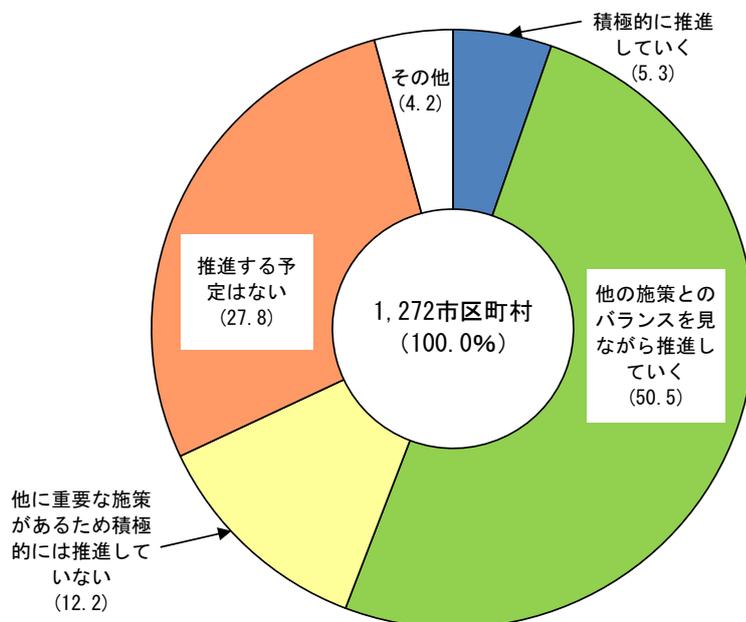
## 2 市区町村

### (1) 農福連携推進の意向

農福連携推進の意向については、「積極的に推進していく」と回答した割合が5.3%、「他の施策とのバランスを見ながら推進していく」が50.5%であった。

一方、「他に重要な施策があるため積極的には推進していない」と回答した割合が12.2%、「推進する予定はない」が27.8%であった。（詳細は、統計表27ページ参照）

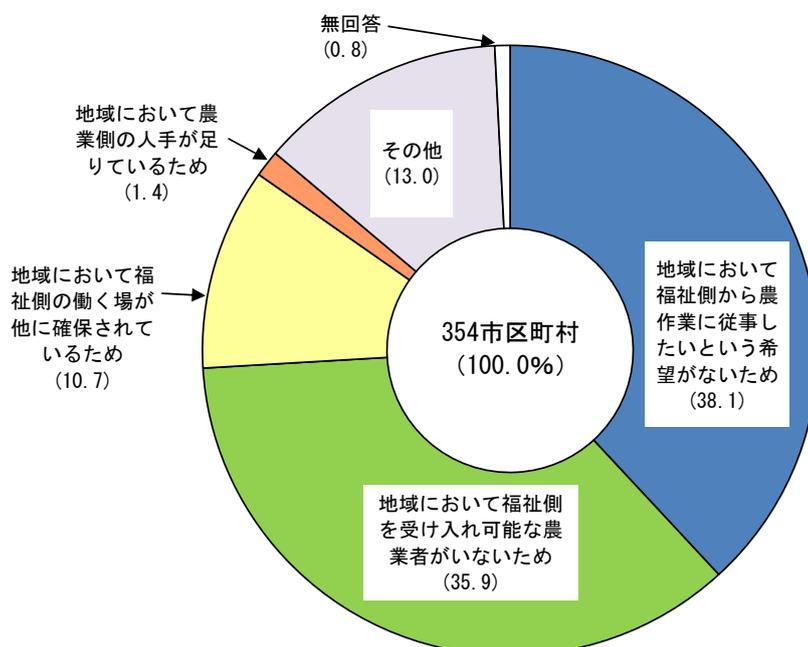
図12 農福連携推進の意向



### (2) 農福連携を推進する予定がない理由

農福連携を推進する予定がない市区町村において、農福連携を推進する予定がない理由については、「地域において福祉側から農作業に従事したいという希望がないため」と回答した割合が38.1%と最も高く、次いで「地域において福祉側を受け入れ可能な農業者がいないため」(35.9%)、「地域において福祉側の働く場が他に確保されているため」(10.7%)の順であった。（詳細は、統計表27ページ参照）

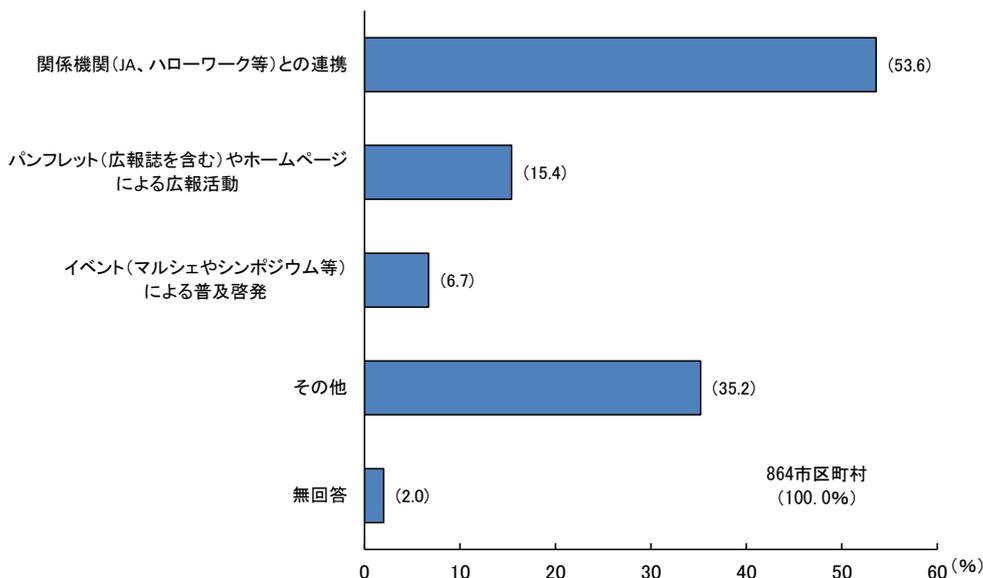
図13 農福連携を推進する予定がない理由



### (3) 農福連携の推進の具体的取組

積極的に推進していく、他の施策とのバランスを見ながら推進していく又は他に重要な施策があるため積極的には推進していない市区町村において、農福連携の推進の具体的取組については、「関係機関（JA、ハローワーク等）との連携」と回答した割合が53.6%、「パンフレット（広報誌を含む）やホームページによる広報活動」（15.4%）、「イベント（マルシェやシンポジウム等）による普及啓発」（6.7%）であった。（詳細は、統計表 27 ページ参照）

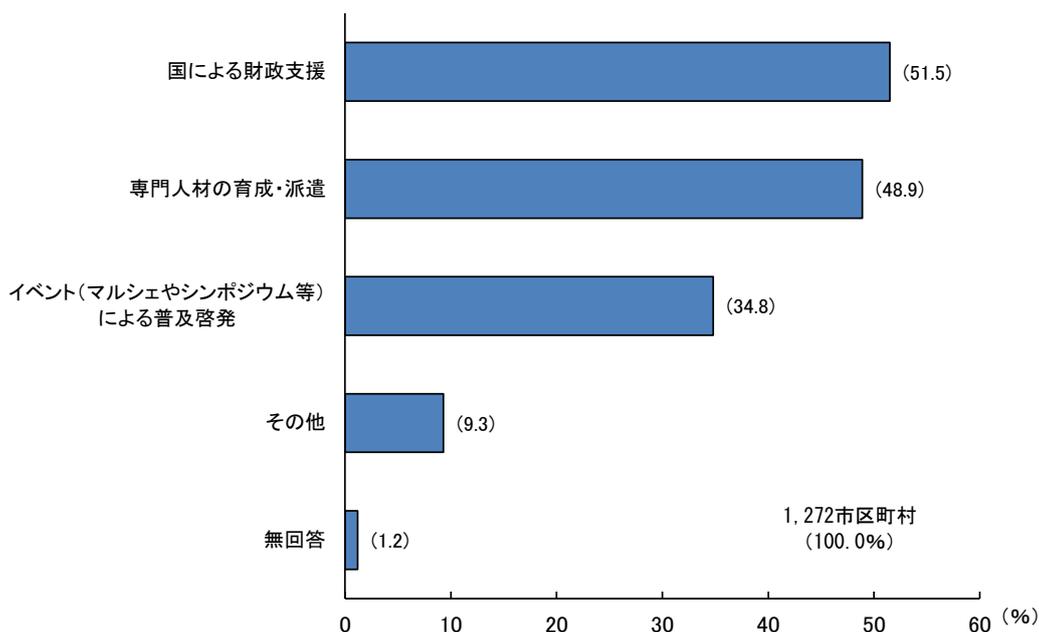
図 14 農福連携の推進の具体的取組（複数回答）



### (4) 農福連携の課題を解決するために必要な取組

農福連携の課題を解決するために必要な取組については、「国による財政支援」と回答した割合が51.5%と最も高く、次いで「専門人材の育成・派遣」（48.9%）、「イベント（マルシェやシンポジウム等）による普及啓発」（34.8%）の順であった。（詳細は、統計表 29 ページ参照）

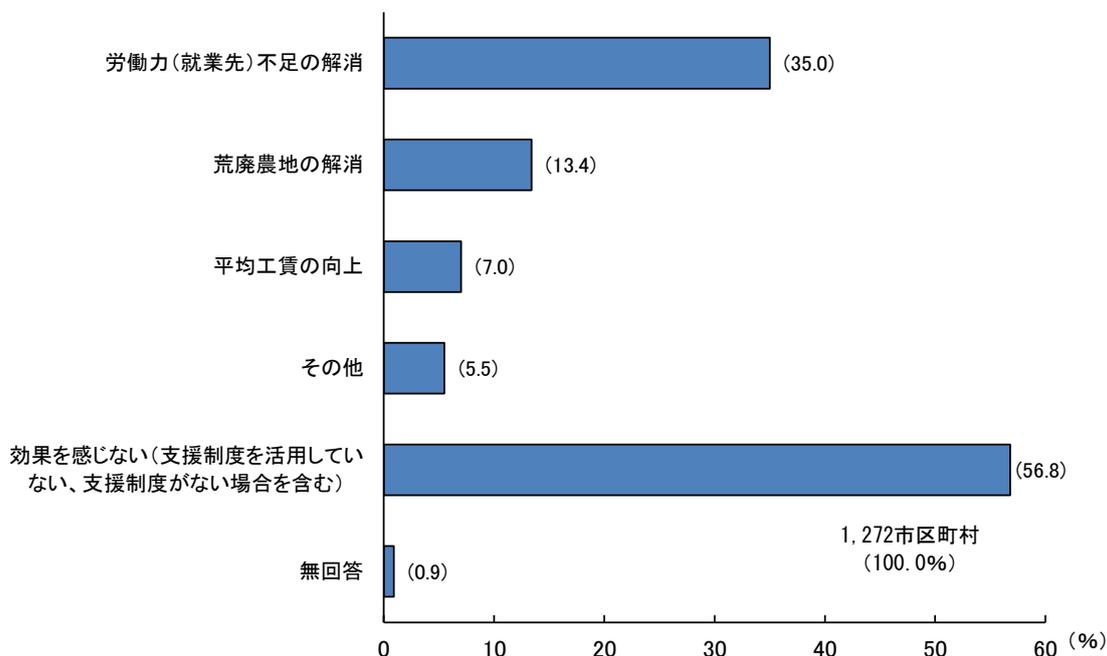
図 15 農福連携の課題を解決するために必要な取組（複数回答）



(5) 支援制度により感じている効果

支援制度により感じている効果については、「労働力（就業先）不足の解消」と回答した割合が 35.0%、「荒廃農地の解消」（13.4%）、「平均工賃の向上」（7.0%）であった。（詳細は、統計表 29 ページ参照）

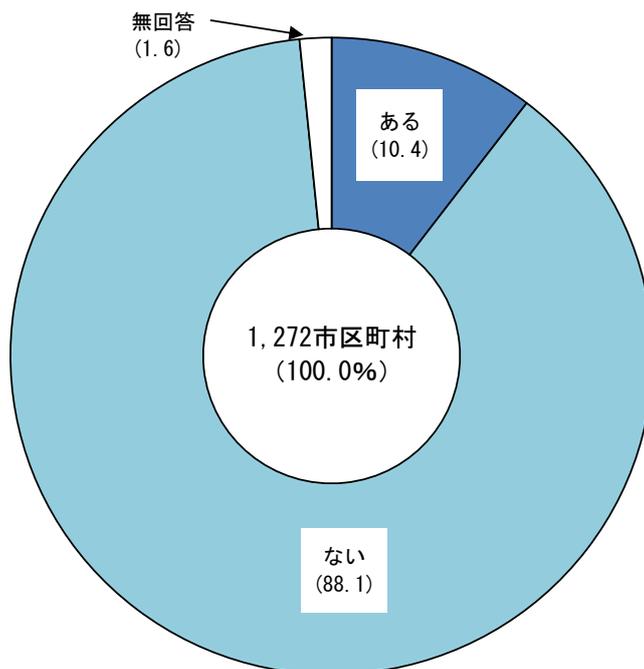
図 16 支援制度により感じている効果（複数回答）



(6) 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例

農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例については、「ある」と回答した割合が 10.4%、「ない」が 88.1%であった。（詳細は、統計表 30 ページ参照）

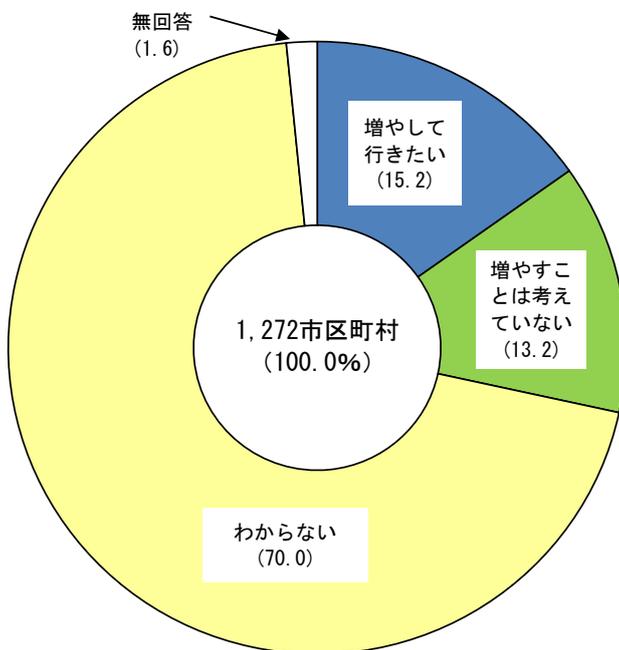
図 17 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例



(7) ネットワークの形成に向けた考え

ネットワークの形成に向けた考えについては、「増やして行きたい」と回答した割合が15.2%、「増やすことは考えていない」が13.2%、「わからない」が70.0%であった。（詳細は、統計表 30 ページ参照）

図 18 ネットワークの形成に向けた考え

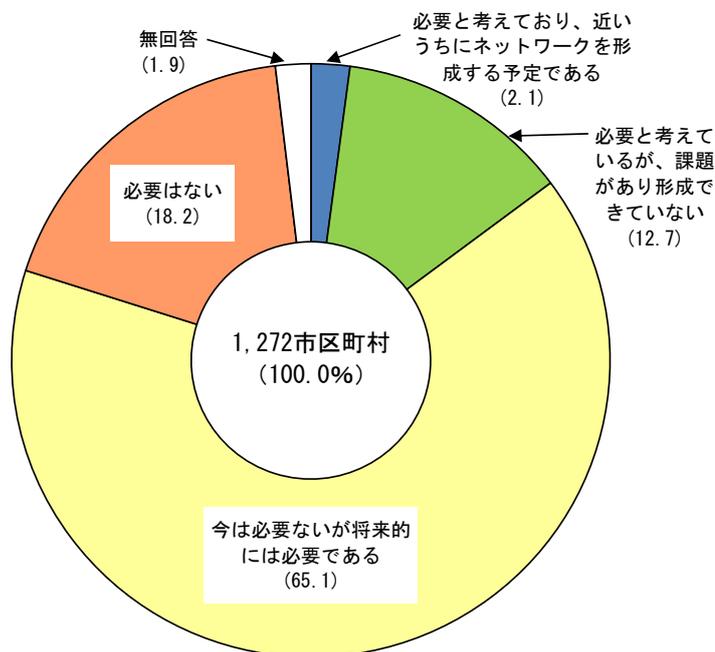


(8) 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークに対する考え

市区町村の域を越えた農福連携のネットワークに対する考えについては、「必要と考えており、近いうちにネットワークを形成する予定である」と回答した割合が2.1%、「必要と考えているが、課題があり形成できていない」が12.7%、「今は必要ないが将来的には必要である」が65.1%であった。

一方、「必要はない」と回答した割合が18.2%であった。（詳細は、統計表 31 ページ参照）

図 19 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークに対する考え



# 【 統 計 表 】

## 統計表一覧

ページ

### 1 農業者

(1) 農福連携を知っているか	13
(2) 農福連携に取り組んでいるか	13
(3) 農福連携における雇用形態（複数回答）	14
(4) 今後の雇用形態	14
(5) 障害者等が担う作業（複数回答）	15
(6) 障害者等の担う作業を増やしたいか（複数回答）	15
(7) 農福連携に取り組んだきっかけ（複数回答）	16
(8) 農福連携に取り組むことによる効果（複数回答）	17
(9) 農福連携の専門人材を知っているか	18
(10) 農福連携の専門人材の支援を受けたことがあるか	18
(11) 農福連携の専門人材から受けた支援（複数回答）	19
(12) 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用したことがあるか	19
(13) 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用しない理由（複数回答）	20
(14) 農福連携の継続の意向	20
(15) 農福連携を継続するにあたっての意向（複数回答）	21
(16) 農福連携の取り組みを終了した理由（複数回答）	21
(17) 農福連携に継続して取り組むために必要なこと（複数回答）	22
(18) 今後農福連携に再び取り組む意向	22
(19) 農福連携に取り組んでいない理由（複数回答）	23
(20) 農福連携に取り組む場合に必要なこと（複数回答）	23
(21) 障害者等に農作業を依頼する場合に分かると良いこと（複数回答）	24
(22) 今後農福連携に取り組む意向	25
(23) 今後農福連携に取り組むことについての関心	25
(24) どのような雇用形態で農福連携に取り組むことに関心があるか（複数回答）	26
(25) 農福連携に関心がない理由	26

### 2 市区町村

(1) 農福連携推進の意向	27
(2) 農福連携を推進する予定がない理由	27
(3) 農福連携の推進の具体的取組（複数回答）	27
(4) 市区町村内で農福連携に取り組んでいる主体を全て把握しているか	27
(5) 市区町村内が把握している農福連携に取り組んでいる主体の数	28
(6) 農福連携に関する支援制度の有無	28
(7) 農福連携の具体的な支援制度（複数回答）	28
(8) 農福連携の支援制度を今後も継続するか	28
(9) 農福連携の支援制度がない理由	29
(10) 農福連携の課題を解決するために必要な取組（複数回答）	29
(11) 国に求める支援制度（複数回答）	29

(12) 支援制度により感じている効果（複数回答）	29
(13) 支援制度に対する今後の考え	30
(14) 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例	30
(15) 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例の数	30
(16) ネットワークの形成に向けた考え	30
(17) 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークに対する考え	31
(18) 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークが形成できない理由（複数回答）	31
(19) ふるさと納税の返礼品として農福連携の商品の取り扱いの有無	31
(20) 今後農福連携の商品をふるさと納税の返礼品として取り扱いたいのか	31
(21) ユニバーサル農園の導入に対する考え	32

## 利用上の注意

- 1 回答者数は、各設問（各区分）の有効回答者数である。
- 2 回答の割合は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0%とする割合である。
- 3 割合については、表示単位未満を四捨五入したため、内訳の計が100.0%とならない場合がある。
- 4 統計表に用いた記号「－」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。
- 5 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合には、「食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 農福連携に関する意識・意向調査結果」（農林水産省）による旨を記載してください。

# 1 農業者

## (1) 農福連携を知っているか

区分	回答者数	知っていた	聞いたことはあるが、内容は知らなかった	知らなかった
		人	%	%
農業者計	2,652	10.2	24.5	65.3
営農類型別				
土地利用型作物	1,679	7.4	24.1	68.5
露地野菜	274	12.8	29.2	58.0
施設野菜	149	20.1	25.5	54.4
果樹類	350	13.1	22.6	64.3
花き・花木	66	12.1	24.2	63.6
その他作物	34	14.7	17.6	67.6
畜産	100	21.0	27.0	52.0

## (2) 農福連携に取り組んでいるか

(1)で「知っていた」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	取り組んでいる	取り組んでいたがやめた	取り組んでいない	無回答
		人	%	%	%
農業者計	270	10.4	3.7	85.2	0.7
営農類型別					
土地利用型作物	125	8.8	1.6	89.6	-
露地野菜	35	8.6	2.9	88.6	-
施設野菜	30	20.0	6.7	73.3	-
果樹類	46	8.7	4.3	84.8	2.2
花き・花木	8	-	12.5	87.5	-
その他作物	5	20.0	-	80.0	-
畜産	21	14.3	9.5	71.4	4.8

# 1 農業者（続き）

## (3) 農福連携における雇用形態（複数回答）

((2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	障害者等を直接雇用している(いた)		障害者就労施設に作業を請け負って もらっている(いた)		その他
		人	%	%	%	
農業者計	38		39.5	47.4		21.1
営農類型別						
土地利用型作物	13		30.8	38.5		30.8
露地野菜	4		25.0	50.0		25.0
施設野菜	8		25.0	75.0		12.5
果樹類	6		33.3	50.0		33.3
花き・花木	1		100.0	100.0		-
その他作物	1		-	100.0		-
畜産	5		100.0	-		-

## (4) 今後の雇用形態

((2)で「取り組んでいる」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	雇用形態を増やしたい(変更したい)		現状のまま		無回答
		人	%	%	%	
農業者計	28		35.7	57.1		7.1
営農類型別						
土地利用型作物	11		36.4	54.5		9.1
露地野菜	3		33.3	66.7		-
施設野菜	6		-	100.0		-
果樹類	4		75.0	25.0		-
花き・花木	-		-	-		-
その他作物	1		-	-		100.0
畜産	3		66.7	33.3		-

(5) 障害者等が担う作業（複数回答）

（(2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	播種・定植 (牧草含む)		管理作業(施肥、かん水、誘引、芽かき、家畜のエサの配合、排泄物の処理、予防接種など)		収穫・調製 (採卵含む)		出荷(出荷のための袋詰め、結束等、家畜の競り市場への移動を含む)		その他	
		人	%	%	%	%	%	%			
農業者計	38	23.7	39.5	39.5	44.7	28.9					
営農類型別											
土地利用型作物	13	38.5	38.5	69.2	38.5	23.1					
露地野菜	4	50.0	25.0	50.0	75.0	25.0					
施設野菜	8	12.5	37.5	-	50.0	25.0					
果樹類	6	-	33.3	33.3	33.3	50.0					
花き・花木	1	-	-	-	-	100.0					
その他作物	1	-	-	100.0	100.0	-					
畜産	5	20.0	80.0	20.0	40.0	20.0					

(6) 障害者等の担う作業を増やしたいか（複数回答）

（(2)で「取り組んでいる」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	増やして行きたい		高度な作業に変更したい		現状のまま		無回答	
		人	%	%	%	%			
農業者計	28	53.6	3.6	46.4	3.6				
営農類型別									
土地利用型作物	11	45.5	9.1	54.5	9.1				
露地野菜	3	66.7	-	33.3	-				
施設野菜	6	66.7	-	33.3	-				
果樹類	4	50.0	-	50.0	-				
花き・花木	-	-	-	-	-				
その他作物	1	-	-	100.0	-				
畜産	3	66.7	-	33.3	-				

# 1 農業者（続き）

## (7) 農福連携に取り組んだきっかけ（複数回答）

((2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	地域の農業者等からの紹介	行政や農協等からの紹介	障害者就労施設等からの紹介	障害者支援機関からの紹介	特別支援学校の職場実習受け入れ	その他
		人	%	%	%	%	%
農業者計	38	15.8	10.5	23.7	7.9	7.9	47.4
営農類型別							
土地利用型作物	13	15.4	7.7	7.7	15.4	-	53.8
露地野菜	4	-	-	25.0	-	-	75.0
施設野菜	8	25.0	-	37.5	-	-	37.5
果樹類	6	16.7	16.7	50.0	-	33.3	33.3
花き・花木	1	-	-	100.0	100.0	-	-
その他作物	1	-	100.0	-	-	-	-
畜産	5	20.0	20.0	-	-	20.0	60.0

区分	無回答
農業者計	2.6
営農類型別	
土地利用型作物	7.7
露地野菜	-
施設野菜	-
果樹類	-
花き・花木	-
その他作物	-
畜産	-

(8) 農福連携に取り組むことによる効果（複数回答）

（(2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	人材として貴重な戦力になった	農作業の労働力確保により営業等の時間が増えた	作業の見直しにより効率が図られた	経営の規模が拡大した	収入が増加した	従業員の士気が向上した
		人	%	%	%	%	%
農業者計	38	57.9	18.4	21.1	13.2	18.4	2.6
営農類型別							
土地利用型作物	13	53.8	7.7	15.4	15.4	15.4	7.7
露地野菜	4	50.0	50.0	25.0	75.0	25.0	-
施設野菜	8	75.0	37.5	37.5	-	37.5	-
果樹類	6	50.0	16.7	16.7	-	-	-
花き・花木	1	-	-	100.0	-	-	-
その他作物	1	100.0	-	-	-	100.0	-
畜産	5	60.0	-	-	-	-	-

区分	その他	効果がない
	%	%
農業者計	21.1	10.5
営農類型別		
土地利用型作物	30.8	7.7
露地野菜	-	25.0
施設野菜	-	12.5
果樹類	33.3	16.7
花き・花木	-	-
その他作物	-	-
畜産	40.0	-

# 1 農業者（続き）

## (9) 農福連携の専門人材を知っているか

（(2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	知っていた		知らなかった		無回答
		人	%	人	%	
農業者計	38		26.3		68.4	5.3
営農類型別						
土地利用型作物	13		30.8		53.8	15.4
露地野菜	4		25.0		75.0	-
施設野菜	8		-		100.0	-
果樹類	6		50.0		50.0	-
花き・花木	1		100.0		-	-
その他作物	1		-		100.0	-
畜産	5		20.0		80.0	-

注：農福連携の専門人材とは、農福連携技術支援者（現場において障害特性を踏まえた具体的な実践手法等をアドバイスする人材）、農福連携コーディネーター（障害者就労施設等による農作業の請負等のマッチングを支援する人材）をいう。

## (10) 農福連携の専門人材の支援を受けたことがあるか

（(9)で「知っていた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	支援を受けたことがある		今後支援を受ける予定		支援を受けたことがない （支援を受ける必要がない）
		人	%	人	%	
農業者計	10		-		10.0	90.0
営農類型別						
土地利用型作物	4		-		-	100.0
露地野菜	1		-		-	100.0
施設野菜	-		-		-	-
果樹類	3		-		-	100.0
花き・花木	1		-		-	100.0
その他作物	-		-		-	-
畜産	1		-		100.0	-

## (11) 農福連携の専門人材から受けた支援（複数回答）

（(10)で「支援を受けたことがある」「今後支援を受ける予定」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	障害者等への 接し方の指導	障害特性に対 応した農作業 支援技法	障害者就労施 設とのマッ チング	その他
		人	%	%	
農業者計	1	100.0	-	-	-
営農類型別					
土地利用型作物	-	-	-	-	-
露地野菜	-	-	-	-	-
施設野菜	-	-	-	-	-
果樹類	-	-	-	-	-
花き・花木	-	-	-	-	-
その他作物	-	-	-	-	-
畜産	1	100.0	-	-	-

## (12) 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用したことがあるか

（(2)で「取り組んでいる」「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	利用したこ とがある	今後利用す る予定	利用したこ とがない(利用 する必要が ない)	無回答
		人	%	%	
農業者計	38	10.5	7.9	76.3	5.3
営農類型別					
土地利用型作物	13	-	-	84.6	15.4
露地野菜	4	25.0	-	75.0	-
施設野菜	8	12.5	-	87.5	-
果樹類	6	-	33.3	66.7	-
花き・花木	1	100.0	-	-	-
その他作物	1	-	-	100.0	-
畜産	5	20.0	20.0	60.0	-

# 1 農業者（続き）

## (13) 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用しない理由（複数回答）

((12)で「利用したことがない(利用する必要がない)」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	国や地方自治体の農福連携の助成制度を知らなかった	国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用する必要がなかった	手続きが煩雑だから	応募したが採択されなかった	その他	無回答
		人	%	%	%	%	%
農業者計	29	48.3	37.9	10.3	-	3.4	13.8
営農類型別							
土地利用型作物	11	36.4	27.3	18.2	-	9.1	18.2
露地野菜	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3
施設野菜	7	71.4	57.1	-	-	-	-
果樹類	4	50.0	25.0	-	-	-	25.0
花き・花木	-	-	-	-	-	-	-
その他作物	1	-	100.0	-	-	-	-
畜産	3	66.7	33.3	33.3	-	-	-

## (14) 農福連携の継続の意向

((2)で「取り組んでいる」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	続けたい	終了する予定である	わからない	無回答
		人	%	%	%
農業者計	28	75.0	3.6	10.7	10.7
営農類型別					
土地利用型作物	11	54.5	-	27.3	18.2
露地野菜	3	100.0	-	-	-
施設野菜	6	83.3	16.7	-	-
果樹類	4	75.0	-	-	25.0
花き・花木	-	-	-	-	-
その他作物	1	100.0	-	-	-
畜産	3	100.0	-	-	-

(15) 農福連携を継続するにあたっての意向（複数回答）

（(14)で「続けたい」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	経営規模(新規作物導入含む)も障害者等の受け入れ人数も増やしたい		経営規模は現状維持だが、障害者等の受け入れ人数を増やしたい		障害者等の受け入れ人数は現状維持だが、経営規模(新規作物導入含む)を増やしたい		経営規模も障害者等の受け入れ人数も現状維持		その他
		人	%	%	%	%	%			
農業者計	21	19.0	23.8	9.5	42.9	4.8				
営農類型別										
土地利用型作物	6	16.7	33.3	-	50.0	-				
露地野菜	3	66.7	-	-	33.3	-				
施設野菜	5	-	-	20.0	60.0	20.0				
果樹類	3	-	66.7	-	33.3	-				
花き・花木	-	-	-	-	-	-				
その他作物	1	-	-	-	100.0	-				
畜産	3	33.3	33.3	33.3	-	-				

(16) 農福連携の取り組みを終了した理由（複数回答）

（(2)で「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	収益が上がらず、十分な収入が得られなかったから		経営規模を縮小し、労働力不足が解消されたから		受け入れていた障害者等が退職したから		請負先の障害者就労施設から請負契約の解除の意向があったから		その他	無回答
		人	%	%	%	%	%				
農業者計	10	30.0	20.0	10.0	-	40.0	10.0				
営農類型別											
土地利用型作物	2	50.0	50.0	-	-	-	-				
露地野菜	1	-	-	-	-	100.0	-				
施設野菜	2	50.0	-	-	-	-	50.0				
果樹類	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-				
花き・花木	1	-	-	100.0	-	-	-				
その他作物	-	-	-	-	-	-	-				
畜産	2	-	-	-	-	-	100.0				

# 1 農業者（続き）

## (17) 農福連携に継続して取り組むために必要なこと（複数回答）

((2)で「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	障害者等を受け入れるための技術指導	障害者等を受け入れる設備	障害者就労施設や障害者等とのマッチング	国や地方自治体の農福連携助成制度の創設または充実	その他	無回答
		人	%	%	%	%	%
農業者計	10	40.0	40.0	10.0	60.0	30.0	10.0
営農類型別							
土地利用型作物	2	50.0	50.0	-	50.0	-	-
露地野菜	1	-	-	-	-	100.0	-
施設野菜	2	-	-	50.0	100.0	-	-
果樹類	2	-	50.0	-	-	50.0	50.0
花き・花木	1	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-
その他作物	-	-	-	-	-	-	-
畜産	2	100.0	50.0	-	100.0	-	-

## (18) 今後農福連携に再び取り組む意向

((2)で「取り組んでいたがやめた」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	取り組む意向がある	取り組む意向はない	わからない
		人	%	%
農業者計	10	30.0	30.0	40.0
営農類型別				
土地利用型作物	2	-	50.0	50.0
露地野菜	1	-	100.0	-
施設野菜	2	50.0	-	50.0
果樹類	2	50.0	50.0	-
花き・花木	1	-	-	100.0
その他作物	-	-	-	-
畜産	2	50.0	-	50.0

(19) 農福連携に取り組んでいない理由（複数回答）

（(2)で「取り組んでいない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	農福連携にメリットを感じないから	農福連携の取り組み方がわからないから	障害者等との接し方がわからないから	障害者等を受け入れる設備が整っていないから	その他	無回答
		人	%	%	%		
農業者計	230	14.8	24.3	17.8	56.1	38.3	1.3
営農類型別							
土地利用型作物	112	17.0	21.4	16.1	50.9	41.1	1.8
露地野菜	31	22.6	29.0	12.9	48.4	41.9	-
施設野菜	22	13.6	45.5	31.8	81.8	9.1	-
果樹類	39	7.7	25.6	23.1	59.0	43.6	-
花き・花木	7	-	-	-	42.9	57.1	14.3
その他作物	4	-	-	-	50.0	50.0	-
畜産	15	13.3	20.0	20.0	73.3	26.7	-

(20) 農福連携に取り組む場合に必要なこと（複数回答）

（(2)で「取り組んでいない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	障害者等を受け入れるための技術指導	障害者等を受け入れる設備	障害者就労施設や障害者等とのマッチング	国や地方自治体の農福連携助成制度の創設または充実	その他	無回答
		人	%	%	%		
農業者計	230	48.7	55.7	47.0	46.5	12.6	6.5
営農類型別							
土地利用型作物	112	46.4	50.9	45.5	42.9	12.5	8.9
露地野菜	31	48.4	64.5	45.2	61.3	12.9	6.5
施設野菜	22	63.6	59.1	40.9	50.0	4.5	-
果樹類	39	48.7	66.7	61.5	53.8	17.9	-
花き・花木	7	42.9	42.9	28.6	-	14.3	28.6
その他作物	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-
畜産	15	46.7	46.7	46.7	40.0	6.7	6.7

# 1 農業者（続き）

(21) 障害者等に農作業を依頼する場合に分かると良いこと（複数回答）

((2)で「取り組んでいない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	どんな作業ができるのか	農作業をどのように教えればよいか	作業の質が確保できるかについて	費用などの金銭面	依頼する方法などの手順	その他
		人	%	%	%	%	%
農業者計	230	75.2	42.2	43.9	43.5	39.6	3.9
営農類型別							
土地利用型作物	112	75.0	39.3	40.2	42.0	37.5	4.5
露地野菜	31	71.0	54.8	61.3	48.4	35.5	-
施設野菜	22	86.4	45.5	45.5	40.9	40.9	-
果樹類	39	79.5	43.6	46.2	51.3	48.7	5.1
花き・花木	7	71.4	28.6	28.6	42.9	28.6	-
その他作物	4	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0
畜産	15	66.7	40.0	33.3	26.7	46.7	6.7

区 分	無回答
農業者計	6.1
営農類型別	
土地利用型作物	8.9
露地野菜	3.2
施設野菜	-
果樹類	-
花き・花木	28.6
その他作物	-
畜産	6.7

## (22) 今後農福連携に取り組む意向

(2)で「取り組んでいない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	取り組む意向 がある	取り組む意向 はない	わからない	無回答
		人	%	%	
農業者計	230	13.9	44.8	39.1	2.2
営農類型別					
土地利用型作物	112	11.6	51.8	33.0	3.6
露地野菜	31	16.1	54.8	29.0	-
施設野菜	22	4.5	36.4	59.1	-
果樹類	39	23.1	33.3	43.6	-
花き・花木	7	-	28.6	57.1	14.3
その他作物	4	25.0	50.0	25.0	-
畜産	15	20.0	20.0	60.0	-

## (23) 今後農福連携に取り組むことについての関心

(1)で「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」「知らなかった」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	関心がある	今は関心がないが、将来的には考えてみたい	関心がない	無回答
		人	%	%	
農業者計	2,382	10.4	27.3	54.7	7.6
営農類型別					
土地利用型作物	1,554	11.3	26.4	54.7	7.7
露地野菜	239	10.5	24.3	56.1	9.2
施設野菜	119	4.2	29.4	61.3	5.0
果樹類	304	10.9	31.9	51.0	6.3
花き・花木	58	8.6	29.3	55.2	6.9
その他作物	29	-	37.9	51.7	10.3
畜産	79	6.3	27.8	57.0	8.9

# 1 農業者（続き）

(24) どのような雇用形態で農福連携に取り組むことに関心があるか（複数回答）

（(23)で「関心がある」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	障害者等を直接雇用する		障害者就労施設に作業を請け負ってもらう	その他	無回答
		人	%	%		
農業者計	248		30.6	71.4	9.3	2.8
営農類型別						
土地利用型作物	175		26.9	74.9	8.6	2.9
露地野菜	25		28.0	72.0	16.0	8.0
施設野菜	5		80.0	20.0	20.0	-
果樹類	33		45.5	60.6	6.1	-
花き・花木	5		20.0	60.0	20.0	-
その他作物	-		-	-	-	-
畜産	5		40.0	80.0	-	-

(25) 農福連携に関心がない理由

（(23)で「今は関心がないが、将来的には考えてみたい」「関心がない」と回答した者のみ回答）

区分	回答者数	地域に障害者等の施設がなく、連携先がないから		障害者等を雇用することや作業を請け負ってもらうのは難しそうに思えるから	障害者等に依頼する作業がないから	その他	無回答
		人	%	%	%		
農業者計	1,954		6.1	21.2	42.5	14.8	15.3
営農類型別							
土地利用型作物	1,260		7.2	19.8	44.7	14.3	14.0
露地野菜	192		2.6	19.3	41.7	19.3	17.2
施設野菜	108		2.8	33.3	30.6	11.1	22.2
果樹類	252		5.2	27.0	33.3	14.3	20.2
花き・花木	49		2.0	16.3	57.1	18.4	6.1
その他作物	26		11.5	7.7	53.8	15.4	11.5
畜産	67		6.0	20.9	43.3	17.9	11.9

## 2 市区町村

### (1) 農福連携推進の意向

区分	回答者数	積極的に推進していく	他の施策とのバランスを見ながら推進していく	他に重要な施策があるため積極的に推進していない	推進する予定はない	その他
市区町村計	1,272	5.3	50.5	12.2	27.8	4.2

### (2) 農福連携を推進する予定がない理由

((1)で「推進する予定はない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	地域において福祉側を受け入れ可能な農業者がいないため	地域において福祉側から農作業に従事したいという希望がないため	地域において農業側の人手が足りているため	地域において福祉側の働く場が他に確保されているため	その他	無回答
市区町村計	354	35.9	38.1	1.4	10.7	13.0	0.8

### (3) 農福連携の推進の具体的取組（複数回答）

((1)で「積極的に推進していく」、「他の施策とのバランスを見ながら推進していく」または「他に重要な施策があるため積極的に推進していない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	イベント(マルシェやシンポジウム等)による普及啓発	パンフレット(広報誌を含む)やホームページによる広報活動	関係機関(JA、ハローワーク等)との連携	その他	無回答
市区町村計	864	6.7	15.4	53.6	35.2	2.0

### (4) 市区町村内で農福連携に取り組んでいる主体を全て把握しているか

((1)で「積極的に推進していく」、「他の施策とのバランスを見ながら推進していく」または「他に重要な施策があるため積極的に推進していない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	全て把握している	全てではないが把握している事例がある	わからない	無回答
市区町村計	864	7.3	65.4	25.7	1.6

注：農福連携に取り組んでいる主体とは、農業経営体、障害者就労支援事業所を問わない（以下同じ。）。

## 2 市区町村（続き）

### (5) 市区町村内在が把握している農福連携に取り組んでいる主体の数

((4)で「全て把握している」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	1	2	3	4以上	無回答
	市区町村	%	%	%	%	%
市区町村計	63	46.0	14.3	7.9	9.5	22.2

### (6) 農福連携に関する支援制度の有無

((1)で「積極的に推進していく」、「他の施策とのバランスを見ながら推進していく」または「他に重要な施策があるため積極的には推進していない」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	支援制度がある	支援制度がない	支援制度はあったが今はない	無回答
	市区町村	%	%	%	%
市区町村計	864	15.3	82.2	0.6	2.0

注：支援制度とは、補助金、相談窓口の設置等をいう。

### (7) 農福連携の具体的な支援制度（複数回答）

((6)で「支援制度がある」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	補助金	相談窓口	専門人材の育成・派遣	その他
	市区町村	%	%	%	%
市区町村計	132	27.3	69.7	3.8	10.6

### (8) 農福連携の支援制度を今後も継続するか

((6)で「支援制度がある」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	継続していく	継続しない	検討中又はわからない	無回答
	市区町村	%	%	%	%
市区町村計	132	90.9	-	8.3	0.8

(9) 農福連携の支援制度がない理由

((6)で「支援制度がない」または「支援制度はあったが今はない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	国の支援制度があれば十分なため	要望がない(利用実績がなかった)ため	その他	無回答
市区町村計	715	10.9	69.9	14.3	4.9

(10) 農福連携の課題を解決するために必要な取組 (複数回答)

区分	回答者数	イベント(マルシェやシンポジウム等)による普及啓発	国による財政支援	専門人材の育成・派遣	その他	無回答
市区町村計	1,272	34.8	51.5	48.9	9.3	1.2

(11) 国に求める支援制度 (複数回答)

((10)で「国による財政支援」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	障害者等が使用できる農業機械の開発・改良	障害者等を雇用するに当たっての情報提供やサポート体制	その他	無回答
市区町村計	655	40.3	90.2	9.8	0.3

(12) 支援制度により感じている効果 (複数回答)

区分	回答者数	労働力(就業先)不足の解消	平均賃金の向上	荒廃農地の解消	その他	効果を感じない(支援制度を活用していない、支援制度がない場合を含む)	無回答
市区町村計	1,272	35.0	7.0	13.4	5.5	56.8	0.9

## 2 市区町村（続き）

### (13) 支援制度に対する今後の考え

区 分	回答者数	拡充していきたい	縮小していきたい	規模は変更しないが、内容を変更したい	廃止したい	規模も内容も変更しない (市区町村の支援事業がないため変更しない場合を含む)	無回答
	市区町村	%	%	%	%	%	%
市区町村計	1,272	17.7	0.1	2.6	0.1	77.3	2.3

### (14) 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例

区 分	回答者数	ある	ない	無回答
	市区町村	%	%	%
市区町村計	1,272	10.4	88.1	1.6

### (15) 農福連携の取組主体が互いに協力するなどのネットワークの形成事例の数

((14)で「ある」と回答した者のみ回答)

区 分	回答者数	1	2	3	4以上	無回答
	市区町村	%	%	%	%	%
市区町村計	132	51.5	15.2	9.8	14.4	9.1

### (16) ネットワークの形成に向けた考え

区 分	回答者数	増やしていきたい	増やすことは考えていない	わからない	無回答
	市区町村	%	%	%	%
市区町村計	1,272	15.2	13.2	70.0	1.6

(17) 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークに対する考え

区分	回答者数	必要と考えており、近いうちにネットワークを形成する予定である	必要と考えているが、課題があり形成できていない	今は必要ないが将来的には必要である	必要はない	無回答
市区町村計	1,272	2.1	12.7	65.1	18.2	1.9

(18) 市区町村の域を越えた農福連携のネットワークが形成できない理由（複数回答）

((17)で「必要と考えているが、課題があり形成できていない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	規約等の合意形成	事務局の位置付け	その他	無回答
市区町村計	162	45.1	71.0	32.7	1.2

(19) ふるさと納税の返礼品として農福連携の商品の取り扱いの有無

区分	回答者数	取り扱いはある	取り扱いはない	無回答
市区町村計	1,272	13.6	85.4	1.0

(20) 今後農福連携の商品をふるさと納税の返礼品として取り扱いたいのか

((19)で「取り扱いはない」と回答した者のみ回答)

区分	回答者数	取り扱いたい	取り扱う予定はない	無回答
市区町村計	1,086	30.8	67.9	1.3

## 2 市区町村（続き）

### (21) ユニバーサル農園の導入に対する考え

区 分	回答者数	関心がある	関心がない	無回答
	市区町村	%	%	%
市区町村計	1,272	40.9	57.2	2.0

注：ユニバーサル農園とは、身近で農業に参画できる市民農園の活用を通じて、多世代・多属性の交流・参加の多様な場を農業を通じて生み出すとともに、様々な社会的な課題の解決にも資することを目的とした農園をいう。

## 【調査事項】

### 農業者

問1 あなたは農福連携を知っていますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 知っていた (→問2へ)
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らなかった (→問11へ)
- 3 知らなかった (→問11へ)

問2 問1で「1.知っていた」と回答した方にお聞きします。あなたは農福連携に取り組んでいますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 取り組んでいる (→問3、問4へ)
- 2 取り組んでいたがやめた (→問3、問5へ)
- 3 取り組んでいない (→問10へ)

問3 問2で「1.取り組んでいる」または「2.取り組んでいたがやめた」と回答した方にお聞きします。どのような雇用形態で取り組んでいますか(いましたか)。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等を直接雇用している(いた)
- 2 障害者就労施設に作業を請け負ってもらっている(いた)
- 3 その他(具体的に記入)

問4 問2で「1.取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。今後の雇用形態はどうしたいですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 雇用形態を増やしたい(変更したい)
- 2 現状のまま

問5 問2で「1.取り組んでいる」または「2.取り組んでいたがやめた」と回答した方にお聞きします。障害者等が担っている(いた)作業は何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 播種・定植(牧草含む)
- 2 管理作業(施肥、かん水、誘引、芽かき、家畜のエサの配合、排泄物の処理、予防接種など)
- 3 収穫・調製(採卵含む)
- 4 出荷(出荷のための袋詰め、結束等、家畜の競り市場への移動を含む)
- 5 その他(具体的に記入)

→問2で「2.取り組んでいたがやめた」と回答した方は問7へ

問6 問2で「1.取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。障害者等に担ってもらう作業は増やしたいですか。該当する選択肢全て選択してください。

- 1 増やして行きたい
- 2 高度な作業に変更したい
- 3 現状のまま

問7 問2で「1. 取り組んでいる」または「2. 取り組んでいたがやめた」と回答した方にお聞きします。

(1) 農福連携に取り組んだきっかけは何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 地域の農業者等からの紹介
- 2 行政や農協等からの紹介
- 3 障害者就労施設等からの紹介
- 4 障害者支援機関からの紹介
- 5 特別支援学校の職場実習受け入れ
- 6 その他（具体的に記入）

(2) 農福連携に取り組んでどのような効果を感じていますか（いましたか）。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 人材として貴重な戦力になった
- 2 農作業の労働力確保により営業等の時間が増えた
- 3 作業の見直しにより効率が図られた
- 4 経営の規模が拡大した
- 5 収入が増加した
- 6 従業員の士気が向上した
- 7 その他（具体的に記入）
- 8 効果がない

(3) 農福連携の専門人材（農福連携技術支援者（いわゆる農業版ジョブコーチ）<sup>※1</sup>、農福連携コーディネーター<sup>※2</sup>）を知っていますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

※1 現場において障害特性を踏まえた具体的な実践手法等をアドバイスする人材。国のガイドラインに則した研修を修了した場合は農福連携技術支援者として認定。その他の場合は、農福連携サポーター等の呼称がある。

※2 障害者就労施設等による農作業の請負等のマッチングを支援する人材。

- 1 知っていた（→（4）へ）
- 2 知らなかった（→（6）へ）

(4) (3)で「1. 知っていた」と回答した方にお聞きします。農福連携の専門人材（農福連携技術支援者、農福連携コーディネーター）の支援を受けたことがありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 支援を受けたことがある（→（5）へ）
- 2 今後支援を受ける予定（→（5）へ）
- 3 支援を受けたことがない（支援を受ける必要がない）（→（6）へ）

(5) (4)で「1. 支援を受けたことがある」または「2. 今後支援を受ける予定」と回答した方にお聞きします。農福連携の専門人材（農福連携技術支援者、農福連携コーディネーター）から具体的にどのような支援を受けましたか（受けたいと思いますか）。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等への接し方の指導
- 2 障害特性に対応した農作業支援技法

- 3 障害者就労施設とのマッチング
- 4 その他（具体的に記入）

(6) 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用したことがありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 利用したことがある
- 2 今後利用する予定
- 3 利用したことがない（利用する必要がない）（→（7）へ）  
→「1.利用したことがある」または「2.今後利用する予定」と回答された方のうち、  
問2で「1. 取り組んでいる」と回答した方は問8へ  
「2. 取り組んでいたがやめた」と回答した方は問9へ

(7) (6) で「3.利用したことがない（利用する必要がない）」と回答した方にお聞きします。  
国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用しない理由は何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 国や地方自治体の農福連携の助成制度を知らなかった
- 2 国や地方自治体の農福連携の助成制度を利用する必要がなかった
- 3 手続きが煩雑だから
- 4 応募したが採択されなかった
- 5 その他（具体的に）  
→問2で「1. 取り組んでいる」と回答した方は問8へ  
「2. 取り組んでいたがやめた」と回答した方は問9へ

問8 問2で「1. 取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。

(1) 農福連携の継続の意向について、該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 続けたい（→（2）へ）
- 2 終了する予定である
- 3 わからない

(2) (1) で「1. 続けたい」と回答した方にお聞きします。

農福連携を継続するにあたりどのようにお考えですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 経営規模（新規作物導入含む）も障害者等の受け入れ人数も増やしたい
- 2 経営規模は現状維持だが、障害者等の受け入れ人数は増やしたい
- 3 障害者等の受け入れ人数は現状維持だが、経営規模（新規作物導入含む）は増やしたい
- 4 経営規模も障害者等の受け入れ人数も現状維持
- 5 その他（具体的に記入）

問9 問2で「2. 取り組んでいたがやめた」と回答した方にお聞きします。

(1) 農福連携の取り組みを終了した理由は何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 収益が上がらず、十分な収入が得られなかったから
- 2 経営規模を縮小し、労働力不足が解消されたから
- 3 受け入れていた障害者等が退職したから

- 4 請負先の障害者就労施設から請負契約の解除の意向があったから
- 5 その他（具体的に）

(2) 農福連携に継続して取り組むために必要なことは何だとお考えですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等を受け入れるための技術指導
- 2 障害者等を受け入れる設備
- 3 障害者就労施設や障害者等とのマッチング
- 4 国や地方自治体の農福連携助成制度の創設または充実
- 5 その他（具体的に記入）

(3) 今後農福連携に再び取り組む意向がありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 取り組む意向がある
- 2 取り組む意向はない
- 3 わからない

問10 問2で「3. 取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。

(1) 農福連携に取り組んでいない理由は何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 農福連携にメリットを感じないから
- 2 農福連携の取り組み方がわからないから
- 3 障害者等との接し方がわからないから
- 4 障害者等を受け入れる設備が整っていないから
- 5 その他（具体的に記入）

(2) 農福連携に取り組む場合に必要なことは何だとお考えですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等を受け入れるための技術指導
- 2 障害者等を受け入れる設備
- 3 障害者就労施設や障害者等とのマッチング
- 4 国や地方自治体の農福連携助成制度の創設または充実
- 5 その他（具体的に記入）

(3) 障害者等に農作業を依頼する場合、どのようなことが分かると良いですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 どんな作業ができるのか
- 2 農作業をどのように教えればよいか
- 3 作業の質が確保できるかについて
- 4 費用などの金銭面
- 5 依頼する方法などの手順
- 6 その他

(4) 今後農福連携に取り組む意向がありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 取り組む意向がある

- 2 取り組む意向はない
- 3 わからない

問11 問1で「2.聞いたことはあるが、内容は知らなかった」または「3.知らなかった」と回答した方にお聞きします。

- (1) 今後農福連携に取り組むことについて関心はありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。
- 1 関心がある (→ (2)へ)
  - 2 今は関心がないが、将来的には考えてみたい (→ (3)へ)
  - 3 関心がない (→ (3)へ)

(2) (1)で「1.関心がある」と回答した方にお聞きします。どのような雇用形態で取り組むことに関心がありますか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等を直接雇用する
- 2 障害者就労施設に作業を請け負ってもらう
- 3 その他(具体的に記入)

(3) (1)で「2.今は関心がないが、将来的には考えてみたい」または「3.関心がない」と回答した方にお聞きします。農福連携に関心がないのはなぜですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 地域に障害者等の施設がなく、連携先がないから
- 2 障害者等を雇用することや作業を請け負ってもらうのは難しそうに思えるから
- 3 障害者等に依頼する作業がないから
- 4 その他(具体的に)

## 市区町村

問1 あなたの市区町村では農福連携について、どのようにお考えですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 積極的に推進していく（→問3へ）
- 2 他の施策とのバランスを見ながら推進していく（→問3へ）
- 3 他に重要な施策があるため積極的には推進していない（→問3へ）
- 4 推進する予定はない（→問2へ）
- 5 その他（具体的に記入）（→問4へ）

問2 問1で「4. 推進する予定はない」と回答した市町村にお聞きします。農福連携を推進する予定がない理由はなぜですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 地域において福祉側を受け入れ可能な農業者がいないため
- 2 地域において福祉側から農作業に従事したいという希望がないため
- 3 地域において農業側の人手が足りているため
- 4 地域において福祉側の働く場が他に確保されているため
- 5 その他（具体的に記入）

問3 問1で「1. 積極的に推進していく」、「2. 他の施策とのバランスを見ながら推進していく」または「3. 他に重要な施策があるため積極的には推進していない」と回答した市町村にお聞きします。

(1) あなたの市区町村では具体的にどのような形で農福連携を推進していますか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 イベント（マルシェやシンポジウム等）による普及啓発
- 2 パンフレット（広報誌を含む）やホームページによる広報活動
- 3 関係機関（JA、ハローワーク等）との連携
- 4 その他（具体的に記入）

(2) あなたの市区町村内で農福連携に取り組んでいる主体（農業経営体、障害者就労支援事業所問わず）は全て把握していますか。該当する選択肢を一つ選択してください。（「1」と回答した市町村はおおよその数も回答してください）

- 1 全て把握している →（ ）主体ある
- 2 全てではないが把握している事例がある
- 3 わからない

(3) あなたの市区町村では農福連携に関する支援制度（補助金、相談窓口の設置等）がありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 支援制度がある（→（4）へ）
- 2 支援制度がない（→（6）へ）
- 3 支援制度はあったが今はない（→（6）へ）

(4) (3)で「1. 支援制度がある」と回答した市町村にお聞きします。農福連携の支援制度にはどのようなものがありますか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 補助金
- 2 相談窓口
- 3 専門人材の育成・派遣
- 4 その他（具体的に記入）

(5) (3) で「1. 支援制度がある」と回答した市区町村にお聞きします。農福連携の支援制度を今後も継続されますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 継続していく
- 2 継続しない
- 3 検討中又はわからない

(6) (3) で「2. 支援制度がない」または「3. 支援制度はあったが今はない」と回答した市区町村にお聞きします。農福連携の支援制度がない（今はない）理由はなぜですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 国の支援制度があれば十分なため
- 2 要望がない（利用実績がなかった）ため
- 3 その他（具体的に記入）

問4 全市区町村にお聞きします。農福連携には「知られていない」、「踏み出しにくい」、「広がっていない」といった課題があります。これらの課題を解決するためどのような取組が必要だと思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

推進（実施）していない場合でも推進（実施）すると仮定してお答えください。

- 1 イベント（マルシェやシンポジウム等）による普及啓発（→問6へ）
- 2 国による財政支援（→問5へ）
- 3 専門人材の育成・派遣（→問6へ）
- 4 その他（具体的に記入）（→問6へ）

問5 問4で「2. 国による財政支援」と回答した市区町村にお聞きします。国にどのような支援制度を求めますか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 障害者等が使用できる農業機械の開発・改良
- 2 障害者等を雇用するに当たっての情報提供やサポート体制
- 3 その他（具体的に記入）

問6 全市区町村にお聞きします。

(1) あなたの市区町村では農福連携の支援制度（国や地方自治体の支援制度）によりどのような効果を感じていますか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 労働力（就業先）不足の解消
- 2 平均工賃の向上
- 3 荒廃農地の解消
- 4 その他（具体的に記入）
- 5 効果を感じない（支援制度を活用していない、支援制度がない場合を含む）

(2) (1) の効果を踏まえて、支援制度を今後どのようにお考えですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 拡充していきたい
- 2 縮小していきたい
- 3 規模は変更しないが、内容を変更したい
- 4 廃止したい
- 5 規模も内容も変更しない（市区町村の支援事業がないため変更しない場合を含む）

問7 全市区町村にお聞きします。

(1) あなたの市区町村では農福連携の取組主体が互いに協力するなどネットワークが形成されている事例はありますか。該当する選択肢を一つ選択してください（「1」と回答した市区町村はおおよその数も回答してください）。

- 1 ある → おおよそ（ ）主体把握している
- 2 ない

(2) 今後、ネットワークの形成に向けてどのようにお考えですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 増やして行きたい
- 2 増やすことは考えていない
- 3 わからない

問8 全市区町村にお聞きします。市区町村の域を越えた農福連携のネットワークについてどのようにお考えですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 必要と考えており、近いうちにネットワークを形成する予定である（→問10へ）
- 2 必要と考えているが、課題があり形成できていない（→問9へ）
- 3 今は必要ないが将来的には必要である（→問10へ）
- 4 必要はない（→問10へ）

問9 問8で「2. 必要と考えているが、課題があり形成できていない」と回答した市区町村にお聞きします。その課題は何ですか。該当する選択肢を全て選択してください。

- 1 規約等の合意形成
- 2 事務局の位置付け
- 3 その他（具体的に記入）

問10 全市区町村にお聞きします。あなたの市区町村ではふるさと納税の返礼品として農福連携の商品（生鮮、加工品）の取り扱いがありますか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 取り扱いがある（→問12へ）
- 2 取り扱いはない（→問11へ）

問11 問10で「2. 取り扱いはない」と回答した市区町村にお聞きします。あなたの市区町村では今後農福連携の商品（生鮮、加工品）をふるさと納税の返礼品として取り扱いたいですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 取り扱いたい

2 取り扱う予定はない

問 12 全市区町村にお聞きします。あなたの市区町村では農福連携の取組の一つであるユニバーサル農園※の導入についてどのようにお考えですか。該当する選択肢を一つ選択してください。

- 1 関心がある
- 2 関心がない

※ ユニバーサル農園とは、身近で農業に参画できる市民農園の活用を通じて、多世代・多属性の交流・参加の多様な場を農業を通じて生み出すとともに、様々な社会的な課題の解決にも資することを目的とした農園で、農林水産省ではこれらの取組に必要な予算を要求することとしています。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

農業と福祉が連携し、障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに障害者等の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組である農福連携に対する考え方等を把握し、農福連携の創出に向けた施策の基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査の対象

#### (1) 農業者

2020年農林業センサスにおける農産物販売金額がある個人経営体の世帯主または団体経営体の代表者

#### (2) 市区町村

全国の市区町村

### 3 調査事項

農福連携の取組状況、農福連携による効果、専門人材の支援、支援制度等

### 4 調査期間

本調査は、令和3年11月中旬から12月上旬までの間に実施した。

### 5 調査方法

民間事業者が調査票を郵送し、調査対象が記入した調査票を郵送又はオンラインにより回収する方法により実施した。

### 6 集計方法

各項目とも、単純に積み上げ集計した。

### 7 調査対象数、有効回答数及び有効回答率

調査対象数、有効回答数（集計に用いた調査対象者の数）及び有効回答率は次のとおりである。

#### (1) 農業者

区分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
農業者計	4,000人	2,652人	66.3%
土地利用型作物	2,445人	1,679人	68.7%
露地野菜	426人	274人	64.3%
施設野菜	249人	149人	59.8%
果樹類	526人	350人	66.5%

区分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
花き・花木	104 人	66 人	63.5%
その他作物	52 人	34 人	65.4%
畜産	198 人	100 人	50.5%

注：土地利用型作物とは、稲作、麦類作、雑穀・いも類・豆類、工芸農作物をいう。

## (2) 市区町村

区分	調査対象数	有効回答数	有効回答率
市区町村	1,741 市区町村	1,272 市区町村	73.1%

## 8 調査における留意点

本調査は、調査対象の意識・意向を把握することを目的に実施したものであり、有効な回答を全国値として推計したものではない。

また、統計表には、回答数の少ないものがあることから、利用に当たっては留意する必要がある。

### 【ホームページ掲載案内】

○ 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

○ この結果の分野別分類は「農林水産行政等に対する意識・意向調査」に分類しています。

【 <https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/index.html> 】

### 【関係リンク】

○ 農福連携関係：農林水産省＞組織別から探す＞農村振興局＞農福連携の推進

【 <https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kourei.html> 】

お問合せ先

◎本調査結果について

農林水産省 農村振興局  
都市農村交流課 農福連携企画班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：5448  
（直通）03-3501-0033  
F A X： 03-6744-0571

◎食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査  
について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計解析班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：3580  
（直通）03-3502-5631  
F A X： 03-3501-9644

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部  
統計企画管理官 統計広報推進班  
電話：（代表）03-3502-8111 内線：3589  
（直通）03-6744-2037  
F A X： 03-3501-9644



**政府統計**

政府統計の総合窓口  
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>